

# DOYOU

さいたま

同友会の三つの目的 / よい会社 よい経営者 よい経営環境をめざす

## IZUMI NORIKO

# 和泉紀子

P・R・O  
コンサルタンツ

労務管理事務所  
(大宮中央地区会)



和の為に…

和泉紀子

【経営理念】

『和の為に…』

- ・働きやすい日本をつくる「仲間」を増やします。
- ・時代にあった「働きやすさ」を追求します。
- ・「知」の研鑽に努め、自ら「行動」します。

2022年1月で社会保険労務士として15年目の和泉氏。P・R・Oコンサルタンツ労務管理事務所に働き始めてから社会保険労務士の資格を取得し、日々お客様により的確な助言と解決方法の提案ができる様、自己研鑽に励み続けています。

開所1か月ほどの新事務所で所内には、アニメの「ムーミン」のグッズが多数並べられた和泉氏の温厚なイメージがさらに強く感じられる雰囲気でお話をお聞きました。(P6へ続く)

2022 - 3 March

VOL. 526 毎月1日発行

●AIの進化で仕事なくなる!!

●同友会で可能性を探る

—ピンチから生まれたコラボレーションの奇跡—

<https://www.saitama.doyu.jp>

社長の<sup>®</sup>  
学校



# AIの進化で仕事はなくなる!!

## 坂本武蔵氏

合格通り司法書士事務所  
司法書士(川口地区会)  
2012年同友会入会  
2013年経営指針セミナー受講

## 大森靖之氏

行政書士大森法務事務所  
行政書士(浦和地区会)  
2013年同友会入会  
2014年経営指針セミナー受講

## 綱川めぐみ氏

つなかわ税理士・社会保険労務士事務所  
税理士・社労士(西部地区会)2013  
年同友会入会  
2015年経営指針セミナー受講

コーディネーター：古崎千穂氏 / (株)りぼんコンサルティング(むさし野地区会)  
記 録：江田雅之氏 / デザインズスクエア(彩北地区会)

多くの仕事がAIに取って変わられる時代がやってくる!

この危機に私たち経営者はどう立ち向かっていくのか!

AIを活かしながら、自社を発展させていく経営のヒントはどこにあるのか!

今回は、影響度が高いといわれている土業にスポットを当て、AI時代を生き残るための未来に向けた戦略や人材育成への取り組みを対談いただきました。

業種を問わず自社に起こる危機として、AIとの共存を考えると共に、「人を生かす経営」との両立をどう図っていくのかを考える機会とすべく、この対談は企画されました。

## AIの不得意分野は生き残る鍵になるか

**古崎** AIを仕事の中で実際に活用しているところ、その中で感じるAIのよい面、悪い面をお聞かせください。

**大森** 私の仕事は、行政書士なのですが、契約書のたたき台をつくる時や、審査をするときなどに活用しています。AIは曖昧さが必要な場合、物足りないと思います。完璧な契約書は作れるかもしれませんが、人と人との関係性、距離感などが必要である時は対応しきれないのでは、と思います。知識だけではなく、状況に合わせ理解し対応する



大森靖之氏

という作業において、人間には及ばないと思いますね。

**坂本** 私のところでは、業務用システムを導入しており、それをスタッフが活用し登記簿等の落とし込みなどの効率化を図れています。仕事においては日々の現場の肌感が大切だと思っておりますが、そこに関しては、AIはまだ人間には程遠いと感じております。自分で判断したり、学んで進化したりするような学習能力はあくまで業務改善としての位置付けでしかないのが現状です。

**綱川** 現在はAIを活用した自動仕訳(AI-OCR)の技術を導入しています。私も皆さんと同感で、AIは決して万能ではないと思います。計算や書類作成などパターン化されたものは得意ですが、共感やコミュニケーションまた、思考力や創造性が必要な部分はまだまだ人間にはかなわないと思います。

**古崎** 同友会が掲げる「人を生かす経営」に照らし合わせて、AIと社員教育や人材活用について、お考えをお聞かせください。

**大森** まず、作業と仕事は分けて考えた方がよいと思います。

受動的な作業はAIに任せられると思いますが、主体的な仕事は人でなければできないと思います。

個別の企業や人の気持ちに即したクリエイティブなものをつくることはAIには難しく、さらに言えば、それを発信すると考えると、そこにはエンターテインメント性も交えながら人間でしかできない表現が大切になってくると思っています、これからは、そういう人を育てていくのが人材活用であり、そういう部分を育てるのが、社員を育てるということになるのではないかと感じています。



坂本武蔵氏

**坂本** AIは誰でも出来る仕事に向いていることは明白ですが、今後私の会社としては、AIと関係性の遠い方向へ事業が進んでいくと感じています。普遍性のない、お客様の感情に合わせたオーダーメイドな業務に関してはAIでは不可能なので、あくまでも考えを分けて、AIの使えるところのみ、社員達と相談しながら新しい技術を取り

入れていきたいと思っています。

**綱川** 何の目的でAIを活用するのか、その「目的」を見失わないこと。AIと共生することで大きなビジネスチャンスを得ることができると思います。

AIの強みを生かし、本来目指すべき企業の付加価値や独自性を際立たせていきたいです。そのために人としての成長、コミュニケーションスキルなど社員教育が重要だと考えます。

## 人間の特権を生かす時代が到来する!?

**古崎** 統計データによると、2030年には生産職、事務職の人数が過剰になり、多くの仕事が消滅すると出ています。そのような中で10年後を見据えた時、自社のあるべき姿をどのように考えているかお聞かせください。

**綱川** 振り返ると、今までも技術革新の繰り返しでした。そこには、なくなる仕事もあれば、必要に応じて新たな仕事も生まれる。AIもそのひとつで、今後はAIに関わるエンジニア、またAIを活用した新たな事業展開に繋がる仕事があると思っています。常に危機感を持っていることで、淘汰されていく先にある未来が開けていくはずだとも思っています。



綱川めぐみ氏

一方で、社員を大切に、同友会で学んだ人間尊重の経営

は、AIの時代が来ても、ぶれることはないと思います。ですので、同友会型企業が増えるように運動を推し進めることも大切だと思っています。

実は、起業支援としてコミュニティ施設を作りたいと考えていました。しかしコロナ禍になり、リアルでなくても繋がることは可能だと感じています。これからは、あらゆる会社が連携して社会性を高め、地域貢献に進んでいくことが多くの人々の幸せへと繋がっていくと思います。一人ひとりの人生が豊かで豊かになること、そのために個人のライフプランが充実するためのお手伝いができるような仕事をしていきたいと考えています。

**坂本** AIはもとよりスマホなどの技術から距離のある社会的弱者に寄り添っていく、さらにはベーシックインカムにも着目し、これまでにない新しい発想で育児支援なども視野に入れて、これから求められる事業を目指していきたいと思っております。

今後ますます必要とされるであろう同友会型企業を増やしていくこと、またそれをPRし発信することで、そのような場所や繋がりを探している社長の期待に応える団体であることが理想だと思っております。

**大森** 10年後に確実なことは人口減少です。2020年の国勢調査で5年前の2015年の前回調査から、日本の総人口が95万人(およそ香川県の人口)減少したという強烈な記事を見ました。『孤独』が一つの社会問題となっていますが、私は、社長も孤独だと思っております。そのようなお悩みを抱える社長に対し私が聞き役、相談役になることが出来れば、土業の中のひとつの仕事として、お役に立てるかもしれないと考えております。それはAIでは不可能な部分で、人と人の話の中であれば、仮にピントがずれたとしても、そこから話の展開があって意外な方向に膨らんだりすることも大事なことだと思っております。

**古崎** 楽しいところに人が集まると言われますが、AIなどのテクノロジーはそれをもたらすツールになることができるでしょうか。

**大森** 単純作業はAIに任せて、楽しいことを考えるという人間の特権を大いに生かす時代が来ていると感じています。そういう意味ではこれからいい時代が来ると思います。指示者はいらなくなり、未来への取り組みへのアクションが起これたり、ビジョンを描くということが出来る経営者になるべきだと思います。

**坂本** 私はよい技術イコールよい時代ではないと思っています。今は新しい技術を制御、コントロールする人が圧倒的に少ないと感じており、技術の悪用、失敗などが懸念されます。やはり一人ひとりの倫理観が大切になると思いますし、教育や法律が追いつく必要もあると思います。

**綱川** 人とAIが共存し、それぞれの強みを生かせば今よりもっと豊かになれると思います。

同友会で学ぶことで、よい経営環境のもと、人が本来求める「楽しむこと」をAIを活用して作っていききたいですね。

**古崎** 皆さま本日は貴重なお話をありがとうございました。

# 同友会での可能性を探る —ピンチから生まれたコラボレーションの奇跡—



DekiTech(同)  
中村忠裕氏、赤塚順次氏(東彩)、小林英生氏(東彩)



中小企業家の経営不振による悩みから生まれたサクセスストーリー。得意分野を生かし、助け合うことで無限大の可能性へと導いた『異業種コラボレーション』事例の特集です。

DekiTech(同)から代表で三名の方と、(株)十八屋、あいどり一む(同)二名の方にお話を聞きました。

## DekiTech(デキテク)とは

デキテクは同友会で物作りをしている会員が集まり、面白い物を作ろうとしたのがはじまりでした。その趣旨は「経営者が楽しんで物作りを行い、その姿を社員に見せて社員教育に役立てよう」というものです。アイデアの製品化については意見を纏めるのに時間が掛りますが、同友会のように全員が対等な関係なので、5時間以上の話し合いを何度も重ねて皆の意見を纏めているそうです。これはある意味、同友会を会社にしたような壮大な実験場と言えるでしょう。

## 新製品開発と会社設立

新製品の話が中々纏まらない時に、気分転換でキャンプに行き、共通の趣味である焚火に関する製品を各自試作して持ち寄ったそうです。そのキャンプで仲間のプロキャンパーを中心に色々とアイデアを出し合い、持ち寄った試作品の優れた

部分を組み合わせて、多機能テーブルが試作されました。

趣味から始まったこの製品ですが、デキテクの中から制作に係わったメンバーが中心となり、新プロジェクト「デキテク鉄男部」を立ち上げ、多機能テーブル等の鉄製品を中心としたグッズの製造販売が始まりました。その後、これら製品の製造管理のため、気心も知れていて人の為に頑張れる仲間間で「DekiTech合同会社」が設立されました。

## デキテクの方針と理念

デキテクは町工場の経営者が楽しく物作りをするという集まりです。そこでは上下ではなく横並びの関係で、汗をかいて皆で物を作るという方針です。同友会で経営理念を学んだ人であれば、この方針でもやっていけるという考えです。今後は方針に賛同する仲間を増やし、「アイデアを持っているが実現できない人達」の支援をする。それがデキテクのプラスになり、そのプラスを自社に持ち帰り自社を成長させる。そして実現した製品が新たな市場創造になることを目指しています。今は事業の売上や利益に対して経営理念や事業計画が追い付いていないので、そこをしっかりと作りこむことが今後の課題とのことです。

(川越地区会 小田明 記)

【その他コラボ事業】今回取材には至りませんでしたが、「誰かのお役に立てることは無いのか？」そんな思いから生まれているコラボ事業も複数存在しています。その一例をご紹介します。( )内は地区会名



(同)わくわく(17社) (川越)



中島製本(株) ×



(株)コマドデザイン(川口)



越谷STREAM(株) ×



(株)山崎メディアミックス(東部)



(有)アート工業 ×



光和空調(株)(さくら)

# The Collaboration



あいどリーむ(同)  
中村撒子氏(東部地区会)



(株)十八屋  
石井芳枝氏(東部地区会)

## 苦難の中での出会い

「私、お力になります!」そんな言葉から奇跡のコラボは始まりました。きっかけは、東部地区会の広報委員長を務めている石井氏の新会員中村氏へのインタビューでした。コロナ禍で2021年の2月にやっとレンタルスペース+オーガニックカフェ "TETOTE"をオープンしましたが、自身はお酒も飲めず仕入れ先に苦慮、また営業においては苦難の連続でした。一方石井氏も取締役として創業91年の老舗酒卸問屋を営んでいます。2021年1月に経営革新を立て、お酒多種とワイン300銘柄をそろえるワインショップをオープンしましたが、やはり営業に苦戦していました。

そんな中でも地元の飲食店様に自社ショップの敷地を提供し、お弁当やお惣菜、和菓子までも販売の援助をしていました。石井氏はワインソムリエの資格を持ち、食へのコーディネーターも得意としています。石井氏は中村氏の窮状を聞き、「お役に立ちたい」と中村氏に申し出たそうです。

## 奇跡のコラボへの道

中村氏はこの石井氏の申し出に天から神がおりてきたような心境だったそうです。強力なパートナーを得た中村氏は持ち前の企画力が炸裂していきます。手始めにワインの試飲会、

日本酒のマリアージュ、ワークショップ。そのうちお客様からも次々にコラボやイベントのアイデアが提案されていきます。

そしてコラボの輪はとどまるところを知らず、店舗でのフリーマーケット、三ツ星レストランシェフを招いてのクリスマスイベント、キッチンカー販売、各種バスツアーなどなど、6月の出会いからたった半年間でコラボの快進撃。そして何より素晴らしいのは、集客から反省会までお客を含めて全員で行っていることです。ただただ驚きの新感覚コラボレーション! コロナ禍で人の距離が離されましたが、「人の絆」はどんな困難をも乗り越えるという証明のように思いました。

コラボを通じカフェ "TETOTE"では、共生社会が創出されています。これこそ現代におけるWIN(事業者)×WIN(事業者)×WIN(顧客)の市場(マーケット)が生まれたビジネスモデルです。  
(東部地区会 小川洋一 記)



同友会会員同士のコラボレーションの事例を有効活用してください。入会を考えている方や同友会に興味を持っている方に今回の2つの事例を紹介しましょう。気分があがる話題です↑

【広報情報化委員会 特集Dチーム編集後記】同友会には経営者として苦悩を語り合う場合があります。今回はピンチだからこそチャンスをつかんだサクセスストーリーの事例を取材させていただきました。人脈は財産、良き仲間との出会いが人生をも変えていきます。読者の皆様のきっかけの一つになれば幸いです。( )内は地区会名 (さくら地区会 水野純子 記)



リーダー :水野 純子(さくら)



企画立案:宇野 碧留(東部)



記事:小川 洋一(東部)



記事:小田 明(川越)



撮影:島袋 輝仁(東部)



企画:古崎千穂(むさし野)



企画:大森 靖之(浦和)

—— 埼玉の元気を創る 中小企業家 ——

P・R・Oコンサルタンツ労務管理事務所(大宮中央地区会)

埼玉県さいたま市岩槻区加倉4-11-22

TEL:048-757-1342



### ■社会保険労務士としての歩み

母体であるP・R・Oコンサルタンツ株式会社において、顧客の抱える課題に向き合い、日々の様々な相談・問題などの話を聞き解決の糸口を探す手伝いをしていくなかで、自身も資格取得を目指しました。努力の結果、社会保険労務士試験に合格し、社会保険労務士事務所である、現在のP・R・Oコンサルタンツ労務管理事務所を立ち上げました。数年前、諸事情で、旧事務所は引き払い、P・R・Oコンサルタンツ株式会社を通しての依頼だけでなく、自身が経営者と直接交流をし、単独での業務も行うようになり、現在に至ります。

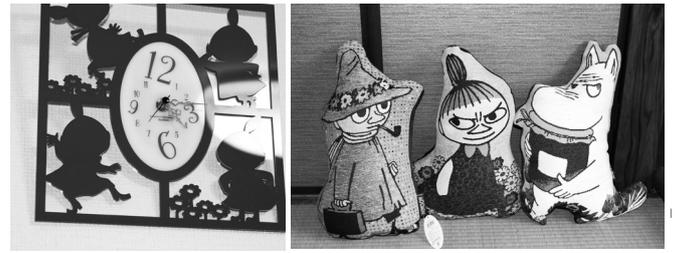
ある金融関係の会合に参加した際、埼玉中小企業家同友会の埼玉地区会に所属している奥津雅史氏と知り合い、同友会の例会に誘われました。初めて体験したグループ討論や進行の仕方に興味を覚え、ゲストとして参加していくうちに、いつの間にか入会していました。

今までは環境が変わった時、先々の事を考えると不安が募る日々を送っていた和泉氏は、同友会の仲間たちと関わり、特に青年部に参加して行く中で、全国の同世代の経営者と「知り合い・学び合い・語り合い」現状の課題を乗り越える元気を受け取り、歩み続けられるようになったそうです。

その後、気持ちを新たに大宮中央地区会に移籍し、新たな場所でも地区会長として社員教育委員として経営者として活躍し、今や皆にも活力を与える存在となっています。

### ■経営計画書の成文化

同友会で活動していると、同友会の仲間からよく「経営者として会社の事を考えるのならば経営指針を受講して経営計画の成文化をしなくてはダメだ」と言われる事が多くありました。「経営指針セミナーを修了して経営計画書を成文化してからは、あれこれ言われなくなった事は内心ほっとする」と、正直な思いを口にしていた和泉氏ですが、



部屋にはムーミングッズがいっぱい

受講後、今までは「これがしたい、ああいうことに取り組みたい」と思いは膨らむが達成できなかった事を形として思い描き、自分の思いを明確に考えられるようになってきたと、自身の心の成長も感じているそうです。

思いつく先には幾つもの壁があり試行錯誤の連続の中、去年の12月に新しく事務所を構えるという思いを実現。少しずつ目標に向かい歩んでいるので、「経営計画の実践計画はどう?」と問いかけず、長い目で見守って欲しいとの事です。

### ■今後の希望する展望

「経営理念を自身の軸として、日々の顧客コンサル、労働相談や個別労使紛争対応だけでなく、次世代を担う若者への支援としてワークルール教育やキャリアコンサルティング、キャリアカウンセリングを通して社会貢献活動を行う」。

新事務所を再開することを機に、現在は社会保険労務士として研鑽を積みながら、このような自分の思いを共有し、ともに歩む従業員を育成する事にも力を注いでいます。

大宮中央地区会では、誰にでも学び合っている仲間として接し、常に明るく前向きに行動する、その姿はとても遅く、地区会の原動力ともなっています。

今年度、大宮中央地区会初めての女性会長となり、その活躍ぶりは多くの期待が向けられています。真摯に取り組む会長に触発され地区会内には今までにないまとまりが感じられ、仲間意識が強く芽生えてきているようにも感じます。

「同友会活動と会社経営は不離一体であり、自社で経験出来ない事も同友会の学びで経験できる事もある」と語る和泉氏の人柄が多くの経営者や労働者に力を与えている事でしょう。  
(鈴木光義 記)





## 仕事とマンガとわたし

生駒 章子 (埼玉葛地区会)  
 ファミリーワークス (同)  
 埼玉県さいたま市中央区上落合 2-4-2-1205  
 TEL:048-829-7977  
 URL <https://www.familyworks.jp/>



現在講座を行っている場所「てらこや新都心」



受講生さんと



講座の様子

当時の特別定額給付金(1人10万円)はマンガのためにあったといっても過言ではありません。

と…書き始めてみると、マンガについてならいくらでも書けることに気が付いた私ですが、あまりダラダラと書いてもつまらないので、ひとつマンガミニ知識を。

みなさんはマンガといえば、基本白黒でコマ割りのある単行本を思い浮かべるとと思います。ただ、今は紙の本が売れない時代。ネットの世界では漫画読み放題のサブスクが大盛況で、日本の多くの漫画もこのサービスで読めるようになっています。

### 日本の漫画とWebtoon(ウェブトゥーン)

そして、漫画といえば日本の文化だー!そんな風を感じている人多いと思うのですが…

実は近年、この日本の漫画を脅かす存在が出てきたんです。それがWebtoon(ウェブトゥーン)です。

Webtoon(ウェブトゥーン)は韓国初のWEBに特化したマンガ。オールカラーで、日本の漫画のようなコマ割りがなく、縦スクロールでスイスイ読めるのが特徴です。出版を前提とした日本の漫画と違い、スマホで読むことを前提に作られているので、これからの時代はさらに台頭してくるのではないのでしょうか。

### 夢も根性もビジネスも、すべてマンガが教えてくれた

あっという間に文字数がなくなってしまったのですが、マンガって本当にすごいですよね。

色んな情報が詰まっているし、しがない小さな会社の代表が高校生や医者やスポーツ選手にもなれちゃうんですから。本当に元気をもらっています。

最近は、パソコン系の地道な作業時に「この作業に意味はあるのか…」とむなしくなることもあるのですが、そんな時「1日で読んでしまうこのマンガを漫画家は長い時間をかけて作り上げたんだ!」と思うと頑張ろうと思えます。

あのスラムダンクは6年かけて作られています。その時の地道な作業が、連載開始から30年たっても愛されるわけですからね。ということで、今日もマンガを読んで地道な作業を頑張ります。

アメリカの臨床心理学者トマス・ゴードン博士が創始した親子のコミュニケーションプログラム「親業」(Parent Effectiveness Training)のインストラクターとして親子関係改善の支援を行っています。

昨年は親支援のさらなる啓蒙と福利厚生事業を行うため、ファミリーワークス合同会社を設立しました。

### こんなわたしに依頼がきた!!

そんなこんなで、同友会に足を突っ込んで間もない私に「ほっと一息」の依頼がきたわけですが…

過去「ほっと一息」に寄稿されている原稿を拝見すると、皆さま素晴らしい趣味をお持ちであったり、理想的な余暇の過ごし方をご紹介いただいているわけです…  
 …どうしよう!

実はわたし…夢中になれる趣味もなければ理想の余暇もないんです! 基本的にやりたいことでお金をもらっているの、趣味も仕事で余暇も仕事。

本音を言えば、休日には一切家事をせず自社ホームページのカスタマイズをして、合間にパパと娘と話せたら最高!と本気で思っています。がしかし、それでは余りにも…というので、改めて考えてみると…ありました!

それは、漫画を読むこと。

### コロナ禍でWEBマンガサブスクが台頭

元々マンガは大好きでしたが、新型コロナウイルス感染拡大に伴う最初の緊急事態宣言が発令されたとき「WEBで読むマンガ」にはまりました。

## 各地区会で開催された例会をご紹介します。

## 【西部地区会 1月例会】

震災から10年、社員とともに目指す未来  
～繋いだ手を離さない！ 経営者の覚悟～

報告者：河野通洋氏（(株)八木澤商店 代表取締役）



「社員との信頼関係なんか クソ食らえ!」とっていました。オレがオレがで経営者として数字と手段だけしか考えていなかったんです。」と赤裸々に語ってくださったのは、岩手同友会で理事もお務めの河野通洋社長です。

江戸時代から200年以上も続く会社を任せられ、自身の考えだけで押し通そうとしていた時期に同友会に出会われます。「自分がこういう会社に勤めたらどんな気持ちになるだろう?」と立ち止まり、恥ずかしい、口惜しいと自身への不信感に涙を流され、社員に「一緒に考えて欲しい」と率直に頭を下げるまでに至ったという変遷には、もはや傲慢経営者の面影はなく、経営者が社員と【共に育つ】という実践そのもので、感動を覚えました。

「新卒者の雇用は手間がかかり、仕事が0.5になってしまう」という社員の懸念を払拭し、地域を衰退させるも振興させるも全て自分たちの責務であると言い切る姿勢が、未曾有の大震災時にも活かされ、復興の大きな原動力にもなりました。

未来を担う子供たちの将来も考え、地域への強い思いを携えた経営理念に中小企業が「なくてはならない」存在であるための深い意義を教えていただき、いつまでも記憶に残る素晴らしい例会となりました。

(小山郁也 記)

## 【大宮東地区会 1月例会】

新入会員の皆様ようこそ大宮東地区会へ!  
共に良い会社づくりを目指し、大いに交流しよう報告者：青砥 祥子氏（(特非)さいたまユースサポートネット 事務局長）  
川口 優子氏（(株)Dream infinity company 代表取締役）  
星野 博紀氏（(株)ほしの 取締役）

1月は会員の交流と共に新入会員の企業情報をお話いただきました。

## ●(特非)さいたまユースサポートネット

地域で孤立した若者など、様々な事情の方々をサポートし、貧困と孤立から守る活動を行っています。専門性の高い様々

な団体と一緒にやることで地域づくりにつながる、という事がとても大切な事だそうです。

近年では関東圏の食糧の支援を企業とコラボして行う等の運営もしています。

## ●(株)Dream infinity Company

アーティフィシャルフラワーギフト専門店を大宮門街にオープン予定で、現在は見沼区のアトリエでの製作とネット販売が中心だそうです。

「人を癒したり、幸せにしてくれるような力を持つ、アーティフィシャルフラワーの良さを伝えたい」と意欲を語られました。

## ●(株)ほしの

大宮市場開業時の1970年創業の洋食屋を運営されています。市場内の新鮮な食材を仕入れ、すべて一から手作りで提供しているそう。2012年からネットショップに挑戦し現在自社WEBショップを開設と、新しい分野にも着手しています。店舗運営では人材の育成と体が基本である事を失敗から学び、二店舗目の出店を目標としていらっしゃるそうです。

---

三者三様の業態の話聞き、同友会は本当にいろいろな企業が集まる会だと感じました。そのよさを活かし経営の勉強だけでなく、企業同士がビジネスマッチングで新しい商品が産まれても面白いと思った例会となりました。

(柴田 大智 記)



青砥祥子氏



川口優子氏(左)、星野博紀氏(右)

## 【東部地区会 1月例会】

失敗しながら成功に導く経営とはなんだ!  
「同友会の経営者に学ぶ」報告者：西本淳弥氏（アートライフグループ 代表）  
永島信之氏（(株)アドバンスサービス 代表取締役）

永島信之氏



西本淳弥氏

両氏はトライアル・アンド・エラーしながら、コロナ禍でも業績を伸ばし発展している企業です。永島信之氏：幾度と無く失敗しながらこれぞと思ったものには果敢にチャレンジし、失

敗と成功を繰り返しながら進化していった企業です。経験を積んでいくうちに企業の在り方や社員との接し方を模索しながら、同友会等で学んだ「良いと思った事」は直ぐに実践しました。その中でも大手が参入したがない業種を選び社員共育に力を入れました。「良い習慣を意識する・謙虚さと素直さを忘れない。自分の器を広げチャンスは前髪で掴む」を心掛けてきました。西本淳弥氏：《マサカがあるのが経営》それは、リーマン・東日本・コロナ禍で既存のビジネスモデルの限界をみました。他と同じでは無価値で他よりも先に違う事「差別化」をして行動を起こす事であると、起業頃は苦しんで試行錯

誤しながらの経営でした。自分ではこれからの葬儀は家族葬が主流になると10年以上も前から考えており、考えもブレませんでした。《伸び続ける理由》は他と違う事をするから違う結果がでるのであり、「介護からお看送りまで」という流れが今のニーズに追い付いてきました。両氏の経験から経営や理念経営・経営指針が大事だと学びました。同友会は学びの宝庫、外野には学べないので積極的に参加しよう！本音で話の出来る仲間がいる事が重要と貴重な発表でした。

(加藤 茂 記)

## 企業訪問記

### (株)リレース

代表取締役 盛下 元氏(もりした げん) 東部地区会

目を向けていなかった商品が武器に！  
～逆境の中、光触媒コーティング剤に先行投資～



会社の仲間と共に



「コロナ禍をバネに飛躍したい」と語る盛下社長

**コロナで施工ができない！**  
2017年に盛下元氏が、それまでのハウスコーティングの営業経験を生かして、創業した(株)リレース。コロナ禍以前の主軸であった事業は、住宅やオフィスの床面や、外壁を液剤でコーティングして、美観維持、汚れ防止を行うコーティング事業でした。ところが、コロナ禍により、ハウスコーティングという主事業での売り上げはほぼゼロにまで落ち込みました。

「この先どうなるのか、と不安が襲いましたが、ふと、自社で扱っていた光触媒コーティングに目が留まったのです」と語る盛下社長。光触媒とは光を受けることでウイルスや菌、悪臭を無害化するもので、新型コロナウイルスにおける抗ウイルス性が実証されています。もともとリレースでは施工用の液剤を自社で製造しており、その優秀性に自信を持っていましたが、それまでは積極的に販売はしていませんでした。ところが、新型コロナウイルスの感染拡大により、抗菌に対しての需要が高まり、光触媒にピンポイントで問い合わせが来るようになったのです。液剤の注文は、コロナ禍を機にトン単位での受注へと展開していきました。

「この先どうなるのか、と不安が襲いましたが、ふと、自社で扱っていた光触媒コーティングに目が留まったのです」と語る盛下社長。光触媒とは光を受けることでウイルスや菌、悪臭を無害化するもので、新型コロナウイルスにおける抗ウイルス性が実証されています。もともとリレースでは施工用の液剤を自社で製造しており、その優秀性に自信を持っていましたが、それまでは積極的に販売はしていませんでした。ところが、新型コロナウイルスの感染拡大により、抗菌に対しての需要が高まり、光触媒にピンポイントで問い合わせが来るようになったのです。液剤の注文は、コロナ禍を機にトン単位での受注へと展開していきました。

#### 今が先行投資の時！

盛下社長は「今はこの光触媒事業への投資の時期。ここを凌ぐことで、安定供給のフェーズに入る」と判断しました。そこで、絶対の品質保証を担保



施工風景

するべく、業界でもっとも信用性のある認証テストを受けることにしました。その認証を取ることは、多くの時間を割かねばならず、人員やコストのリスクもありましたが、結果として2つの認証試験に合格し、そのうち一つは全国で2番目の取得になったことで、圧倒的な信頼性を得ることにつながりました。

また、トン単位の注文に応えるために、分子レベルまで攪拌できる超音波攪拌機も導入しました。製造現場拡張のため昨年、本社の移転も決断しました。「移転後、多くの見学者が訪れるようになりましたが、製造過程を見てもらうことは、大きな信頼につながり、売り上げにも貢献しているようです」と自信をのぞかせます。

この一連の決断は、時代にもうまくマッチし、コロナ前は光触媒コーティング事業としては独立した部門になっておらず、商品パンフレットさえもなかった光触媒事業は、全体の3分の1くらいまでの大きな売り上げとなってきました。病院や介護施設、幼稚園やホテルなどのほか、一般家庭にまでその野は広がり続けています。

コロナ禍でありながらも、挑戦を止めず、昨年度は大阪と石川に支店を開設しました。「全国展開を見据え、組織もそして自分自身も次の段階に来た」とも語る盛下社長の今後の展開が楽しみです。

(事務局 古川 佳子記)

#### 会社概要

設立年:2017年  
資本金:500万円  
従業員:35名  
事業内容:光触媒コーティング溶液製造・販売・施工、  
トータルコーティング、リフォーム事業等  
住所:埼玉県越谷市川柳町2-383-1  
電話番号:048-990-1771  
URL:https://www.relays.co.jp

## 埼玉中小企業家同友会 2021年度第5回理事会議事録

《2021年度スローガン》 今こそ本質を見極め「人を生かす経営」の総合実践を  
～同友会の優位性を発揮し激変する経営環境に立ち向かおう～

- ◆日時: 2022年1月28日(金)18:30～20:30 ◆議事録署名者: 菊永副代表理事  
◆会場: Web会議(Zoom) ◆議事録作成者: 清水事務局長  
◆司会・議長: 金子副代表理事

## ・太田代表理事挨拶

新型コロナウイルスの感染症が猛威をふるっています。先週、埼玉同友会でも感染者が複数名出ました。感染しても軽症とされていますがひとたび経営者が罹患すれば多方面に影響を及ぼすことになります。やはり今一度皆、襟を正して十分に気を付ける必要があります。会合等では主催者の判断にはなりますが可能な限り、今まで培ったリモート等の技術を駆使してオンラインの開催をしていただきたい。感染した場合は地区会長に報告して事務局迄報告して情報を共有することになっているのでよろしくお願いたします。

1月14日に中同協の幹事会があり、日頃お世話になっている慶応大の植田教授の講演がありました。そこでは大きく時代が変化していること、このような時代だからこそ中小企業が主役になると講演されました。経営者である以上、いかに環境が厳しくとも、時代の変化に対応して、経営を維持し発展させていくのが同友会企業の経営者です。この一年も意識して乗り切っていきましょう。続いて各県の増強についての報告がありましたが、このような状況でも全国の同友会の中に過去最高氣勢にまで伸ばしている県が5県(鳥根、青森、長野、千葉、兵庫)ありました。隣県の千葉が伸ばしていて埼玉が減少しているのはどうしてでしょうか。今後、検討して行きたいと思っています。最後に健康に気を付けてまた一年間、共に学んでいきましょう。

## 1. 議事(審議事項・協議事項・報告承認事項・連絡事項)

## 審議事項

## 1. 承認第49回定時総会について (菊永副代表理事)

総会設営概要の内、日程・開催方法・記念講演を協議、審議し承認された。

- ①日程: 4月23日(土)14時開始  
②開催方法: オンライン開催(手順、スケジュール等は調整)  
③記念講演: 森俊彦(もり としひこ)氏 (一般社団法人日本金融人材育成協会会長、金融庁参与)

## 協議事項

## 2. 第49回定時総会について(太田・小松代表理事・金子副代表理事・米山委員長)

・2021年度総括・2022年度活動方針(案)  
議案作成全般について太田代表理事が進捗状況を説明。その後、2021年度総括案を各正副代表理事より報告され協議した。続いて2022年度方針案を小松代表理事、各正副代表理事及び米山政策委員長より議案作成プロジェクト等で協議した内容、経緯が報告された。今後は次回議案作成プロジェクト・正副会議および理事会で協議し、3月の理事会にて協議・審議とする。

## 報告事項

## 1. 全県経営研究集会進捗状況(高橋副代表理事)

・全県経営研究集会開催日: 2022年2月15日 開会: 13:30 閉会: 19:00  
昨年と同様の開催方法(オンライン)の全県経営研究集会だが、現在の参加登録は現在258名と例年と比較しても大変少ない参加登録となっている。今年はPR動画作成や各委員会も分科会も企画してプレ報告等も数度実施している。今一度、参加者の増を各地区会にお願いしたい。次月の幹事会には実行委員会として地区幹事会に参加するとの報告があった。

## 2. 政策委員会(米山政策委員長)

・2022年1～3月の景況調査を今年も実施する。(回答期限は3月7日)景況調査は各社の定点観測として活用して頂きたい。また昨今、他の団体からも期待されているので調査をすることで会外にも情報発信ができるようになる。今回の特別質問はインボイス制度、埼玉県最低賃金についての2点。是非、多くの方の回答をいただきたい。

## 3. 議案作成プロジェクト報告(金子副代表理事)

2022年1月19日(水)に第3回議案書作成会議で次年度議案の総括・方針の検討をしたとの報告があった。特に今年は企業づくり、地域づくり、同友会づくりと3議案を掲げて策定している。今後は正副会議、理事会と連携して総括については1月下旬でまとめ上げ、方針については1～2月中に検討作成して、2月25日(金)の理事会で検討協議して、3月11日(金)の理事会で協議審議する予定。

## 4. 理事・理事候補者役員研修会について(横山副代表理事)

2021年度理事候補者研修会をオンラインで開催する。参加対象者は次年度理事になる方全員(新任含む)及び現理事の方。研修をうけることによって役員としての自分の立ち位置が分かるようにしていく。

日時: 2022年3月25日(金)16時から(WEB開催)

## 5. 2023年中同協第55回定時総会in埼玉の設営の為の実行委員、実行委員長募集(奥津副代表理事)

2023年度開催の中同協定時総会in埼玉の実行委員長の候補の選出報告があった。奥津役員選考委員長より応募者の中から選考したことが報告された。また、実行委員についてはこれより実行委員長中心に参加者を募っていくことも報告された。

- ・実行委員長: 宇梶氏(大宮南地区会)、小松氏(川口地区会)の2名に決定した。  
・日程予定: 2023年7月13日(木)～7月14日(金)リアル開催

## 6. 埼玉同友会長期ビジョン検討会について(吉田副代表理事)

現在は各分科会においてテーマづくりに入っているがまだ策定途いかに各分科会共に補講等を実施している。また、参加している方のアンケート結果も良好になってきている。この会議は人材づくりをして未来を担う人を育成していく意味もある会議ですのでぜひ参加してみてください。

## 7. その他

## 1) コロナ感染症関連(清水)

1月25日に「新型コロナウイルス感染症拡大に関する埼玉中小企業家同友会の当面の対応についてのお願ひ」(第15報)の掲示報告があった。公式の会議は極力、オンラインで実施すること、会の公式行事等のみならず個人も新型コロナ感染症に罹患した場合は速やかに事務局に一報を入れ、正副代表理事会議に報告することへの要請があった。

## 2) 新入会員オリエンテーション開催報告(菊永副代表理事)

オリエンテーション開催報告をみて、自地区の参加率の確認をお願いいたします。参加者に同友会を知っていただくだけでなく退会の防止にもつながると思っています。委員会等もPRの窓口でも参加できるように説明しているのでぜひ参加の方を増やしていただきたい。次回は2月21日(月)16時から開催します。

## 3) 事務局報告(清水)

事務局長より職員の定年退職に伴い、担当する地区、委員会の担当替え及び異動の報告があった。通常、5月の地区総会時に異動を実施するが今回は1月、2月より引継ぎをはじめ、4月に着任することとなった。

## 4) 委員会・地区会より(谷田障害者雇用推進委員会委員長)

障害者雇用推進委員会より会外の大学教授の研究アンケートの記入要請があった。今後、実施方法を煮詰めていく。

新たな辞書の1ページ **新入会員紹介** (12/1~)



長妻 潤  
 (株)LIGO  
 川口地区会  
 indeedを活用した採用支援(運送、介護、建設業が強い)



山下大輔  
 (株)お多福  
 中部地区会  
 飲食事業



泉川和雅  
 ハートランド(株)  
 西部地区会  
 主知的障害の方のグループホームを運営



木村和人  
 COACH PLUS 1  
 浦和地区会  
 パーソナルコーチング、エグゼクティブコーチング、研修講師



滝澤紀夫  
 一步  
 西部地区会  
 居酒屋

**会員information**

《**役職変更**》

浦和地区会 アーバンレント(株) 横川 一憲会員  
 顧問へ

《**TEL 変更**》

戸田・蕨地区会 (株)グレイト 山下 太一会員  
 TEL : 03-6383-0170

《**住所変更**》

川口地区会 南埼玉法律事務所 高倉 光俊会員  
 〒332-0012 埼玉県川口市本町 4-13-1  
 第1 三井ビル 201 号室

◆ **訃報** 謹んでご冥福をお祈り申し上げます

東部地区会 小島秀夫会員がご逝去されました。  
 さくら地区会 吉野一郎会員のご母堂様がご逝去されました。  
 埼玉地区会 小山英一会員のご尊父がご逝去されました。

**同友会日誌** 12月1日~31日

- 1日(水) 浦和幹事会、2022年度役員選考会、埼玉幹事会  
 中部幹事会、むさし野幹事会
- 2日(木) 北部幹事会、戸田・蕨幹事会、大宮中央幹事会、  
 東部幹事会
- 3日(金) 正副代表理事会議
- 6日(月) さくら幹事会、東彩幹事会、彩北幹事会
- 7日(火) 人を生かす経営勉強会、大宮東幹事会、川口幹事会  
 川越幹事会、西部幹事会、大宮南幹事会
- 8日(水) 2022年度議案書検討プロジェクト  
 オープン学習会、社員教育委員会、広報情報化委員会
- 9日(木) 経営労働委員会、学べる経営労働委員会
- 10日(金) 全研実行委員会  
 第5回実践学習会(仕事づくり委員会)
- 13日(月) ファム幹事会・ミニ学習会
- 14日(火) 共同求人委員会、共同求人学ぶ定例学習会  
 障害者雇用推進委員会・例会
- 15日(水) 埼玉例会、浦和例会、むさし野例会
- 16日(木) 北部例会、大宮中央例会、戸田・蕨例会、東部例会  
 大宮南例会
- 17日(金) 正副代表理事会議、理事会
- 18日(土) 中部例会、西部例会
- 20日(月) 彩北例会、政策委員会  
 新入会員オリエンテーション、さくら例会、東彩例会
- 21日(火) 長期ビジョン検討会、川越例会、川口例会
- 22日(水) 2022年度議案書検討プロジェクト会議  
 青年部幹事会会議、仕事づくり委員会
- 23日(木) 全研グループ長研修
- 27日(月) 青年部例会
- 28日(火) 社員教育委員会

**DOYOUさいたま4月号のお知らせ**

次号「DOYOUさいたま4月号」は、2022年度第49回定時総会議案書と一緒に郵送いたします。その為、4月中旬頃の発送となりますのでご了承下さい。

**会員数**

2022年2月1日現在

地区会名	会員数	地区会名	会員数	地区会名	会員数
川 口	57	大 宮 南	77	北 部	30
戸田・蕨	47	西 部	41	さくら	86
浦 和	74	むさし野	91	川 越	82
大 宮 東	39	東 部	129	東 彩	57
大宮中央	33	中 部	46	彩 北	17
		埼 葛	49	計	955

**編 集 後 記**

最近の大相撲を観戦して感じるのは出身地が国内だけでなく世界の様々な国々から己の体一つで日本に来て闘っている力士の姿が強く印象に感じる。彼らは異国の伝統技を習得して成果を出し今や最高位の横綱は日本人を圧倒する程に為っている。それに対して稽古を積み上げ力を付けた若者たちが挑む姿はとても堂々としていて声援を送りたくなる。まして近代スポーツではありえない不公平ともいえる体格差がある中で自身の持てる力を出し切る数秒間の攻防には目を奪われる。若者に限らず自身の限界を超える挑戦をする姿には元氣と勇気をもらえます。さらに近年は多くの埼玉県出身の若者も力をつけて頑張っている、世界を相手に闘う同郷の若武者を観るとより一層に心が昂ります。

(大宮中央地区会 鈴木光義 記)

# 創業60年を継承、3代目が描く不動産の未来ビジョン



## 岡 雅英

おか まさひで

彩北地区会  
株式会社岡不動産  
常務取締役  
埼玉県加須市浜町3-31  
TEL:0480-61-0400  
<https://www.okafudosan.com>



### ■祖父が起業した不動産業、幼少の頃からのイメージは？

昭和28年、加須市・不動岡高校の立地にあった実家で祖父が不動産業を開業。戦後高度成長の波に乗って邁進する日本において、それは不動産業にも大きな影響をもたらし、岡不動産も順調に事業を伸ばしていきます。その頃まだ幼かった岡氏は、ドラマなどメディアで見る『悪徳不動産屋』のイメージで周囲から見られているかも…と、子供ながら世間の目と実状との違和感を感じていました。そんな学生時代、周りとのギャップに若干の遠慮をおぼえつつ、祖父から父へと継がれる岡不動産と共に成長していきます。

20才のとき、学生時代の恩師の紹介もあり都内デベロッパーに就職、特にマンション開発の業務に携わりますが、それはそれは大変な毎日。夜も寝られず、遠方への出張、ドラマのような接待、体も精神もクタクタに。リーマンショックも重なり厳しさは増すばかり。しかし都内のやり方を会得したことは今に活着していると岡氏は語ります。都内と地方、やり方は違えども流れは一緒。ちょっと遅れて地方でブレイク、先読みの手法は現在の経営にも役立っています。

### ■同友会との出会い、そこにはたくさんのシンクロが。

22才で加須に戻り、解き放たれた岡氏は地元でイキイキと仕事に励みます。先代社長も地元では顔が広く、折原昌司地区会長

と彩北メンバーの増田 憲司さんとの繋がりで35才の時に同友会の門を開きます。JCや商工会青年部など、多くの誘いを受けながら何とか逃げて(いや、丁重にお断りして)いたそうですが、なぜか同友会は縁があった模様。しかもそこでは、お客様の喜びを最優先に掲げる岡不動産の理念と合致、ますます確信を得るとともに、更なる学びを深めていきます。

### ■オンとオフ、うまく使い分ける器用なストレス回避策

アラフォーにさしかかる年代あるある、代謝が落ちてきて順調な体重増加が悩みの種。しかも、以前からのグルメ好きも加速して、目下自制との対戦中!そんな中、最近始めたゴルフは健康維持にもピッタリで、運動不足とストレス解消に一石二鳥の趣味だそうです。また、好きな時間はサウナだそうで、地元以外のあちこちのスーパー銭湯へも足を伸ばし、自分だけの至福の時間を満喫してるのだとか。でも帰りにおいしいものを食べて、お腹はまた元どおり!? 今後の体型に要注目といったところでしょうか。

### ■これからの不動産業、クリーンでオープンな経営を!

「不動産業という特殊な世界。どうもダークなイメージがあるのでは? 疑念を持たれているのでは?だとすれば、それを払拭したいと考えています」と語る岡さん。「お客様にとって必要な物件情報、包み隠さずお伝えし、満足のいく契約へ、そして充実した生活を送っていただきたい。それが地元で長く経営を続けるために必要だと考えています」と語ってくれました。不動産というものを仲介し扱っているようで、結局は人と人。人情を大切に、地元の人たちとの共存、地域貢献を念頭に、祖父から続く岡不動産の進化は続いていきます。

(江田雅之 記)



## 埼玉同友会 広報情報化委員

- |                    |                    |           |           |           |                 |                |
|--------------------|--------------------|-----------|-----------|-----------|-----------------|----------------|
| ●委員長●<br>東 彩 齊藤壽和  | 戸田・藤 石井孝徳          | 大森靖之      | 村里忠輔      | 小川洋一      | 彩 北 江田雅之        | ●制作担当●<br>杉込博久 |
| ●副委員長●<br>川 越 小田 明 | ●委 員 ●<br>川 口 福井千波 | 大宮東 柴田大智  | むさし野 古崎千穂 | 中部 中山晴喜   | ●印刷・製本●<br>加藤早苗 | ●事務局●<br>水野純子  |
| 埼玉 葛 松本賢二          | 山本佳奈子              | 大宮南 加藤早苗  | 東 部 鈴木光義  | 埼玉 葛 今村達郎 | ●事務 局●<br>古川佳子  | (順不同・敬称略)      |
| 中 部 矢澤敦臣           | 戸田・藤 木村亮介          | 高橋浩明      | 藤元天美      | さくら 水野純子  |                 |                |
|                    | 浦 和 三友哲哉           | 西 部 網川めぐみ | 島袋輝仁      | 遠藤裕行      |                 |                |